



～2022.9.5 第92号～

～君たち、漫画から漫画の勉強をするのはやめなさい。一流の映画をみる、一流の音楽を聞け、一流の芝居を見る、一流の本を読む。そして、それから自分の世界を作れ。～手塚治虫 9月です。秋の始まりです。秋は「読書・芸術・スポーツ・食欲 etc.」とにかく、人の活動が活発化する季節です。

ところで、中1・2の夏期講習の、私が担当する社会科は、授業回数が2回だけですので、教科書的な知識の教授だけでなく、グローバル化する社会に出ていく際に必要となる「現代社会に関して知っておきたい知識」や、「接する可能性のある異文化についての教養的知識」の、それぞれ「入口」になるようなお話もしています。しかし、失礼を顧みず敢えて申し上げますが、そのたびに感じる、そして年々大きくなる懸念は、子どもたちを取り巻く大人たちの「教養度」の低下です。身近な大人が学ばないのなら、子どもが勉強しないのも当然です。身近な大人が教養を重視しないのなら、子どもが教養を尊重し獲得しようとしにくいのも当然でしょう。

手塚治虫が言っているのは、「一流の」創造物には必ず「教養」が包含されており、新たな創造の始まりには、「教養」が必須だ、ということではないでしょうか。そして、教養の獲得には、自分が「無知」であることの自覚と、「知」への尊敬と憧れが前提となり、その上に、自己を「知と教養」に向けて駆動する「知的好奇心」が必要となります。

中3生も高3生も、これからが受験に向けての山場です。入試合格という「創造」のために、周囲の大人は「教養」の場を提供してあげるべきです。そして勿論、我々GrowrY講師陣一同も「周囲の大人」の一員です。

また、受験生以外の生徒の皆さんは、余裕ある今の時間を活用して、どんな分野のものでも構いませんから、「一流」に接してください。それは直接の点数以上に、皆さんの「能力・学力」の向上に間違いなく寄与するのですから。そして、そのような活動に最適な季節、それがこれから始まる「秋」ではないでしょうか。

9月予定表

日	月	火	水	木	金	土
8/28	29	30	31	1 山田 中3実力テスト	2 塾2学期開講日	3
4	5 C問題対策①	6 中3チャレンジテスト	7	8	9	10
11 中3 五ツ木模試	12 C問題対策②	13	14	15	16	17
18	19(祝) 休講日	20	21	22	23(祝) 休講日	24 中間テスト対策
25 中3入試特訓①	26 C問題対策③	27	28	29 吹田2・摂津1 中間テスト	30	10/1 第2回英検

～10月以降の行事予定～

- ・10/1(土) 第2回英語検定 (GrowrY 実施)
- ・10/1(土)・2(日) 中学生中間テスト対策
- ・10/9(日) 中3五ツ木模試
- ・10/16(日) 日曜入試特訓②

- ・10/23(日) 日曜入試特訓③
- ・10/30(日) 日曜入試特訓④

※9/29～10/14に各中学で中間テスト実施予定です。各自で自分のテスト日程を確認してください。



☆ 中3入試説明会

コロナ禍による学校行事の頻繁な変更などのため、今年も例年よりも日程を早め、夏期講習終了直後の8/28(日)に実施しました。

当日は多数の生徒・保護者の皆様にご出席頂き、スタッフ一同感謝致しております。

☆ 中3日曜入試特訓&数学C問題対策

中3生は、いよいよ入試を意識して勉強に取り組んでいく時期に差し掛かってきました。先日の入試説明会でもご説明いたしましたが、当塾では、日曜日の時間を使い、より実践的な演習を行う時間として日曜入試特訓を9月より全8回の予定で実施致します。費用・時間割の詳細については後日お手紙にてお知らせします。

また大阪府公立入試における数学のC問題においては、例年難易度が高く、今年度入試においても同様の難易度が想定されます。この状況を受けて、C問題を使用する公立高校の受験予定者を対象に、数学C問題対策授業を実施致します。この講座では、入試本番での得点力を高める「A面対策」や難易度の高い「図形問題」へのアプローチを、入試直前の2月末までの一部を除いた全月曜日に実施予定です。

☆ 第1回英語検定合格者(S-CBT含む)

3級以上の二次試験の結果も判明しましたので、合格者をお知らせいたします。

- ◆2級(高3内容) [高3] 徳平真さん
- ◆準2級(高1・2内容) [中3] 志村さん 宮本さん 國廣さん 岸さん [中2] 須賀森さん 新井さん 小西さん
- ◆3級(中3内容) [中3] 竹下君 後藤龍君 山元さん 金光さん [中2] 余田君 紙谷君 金子君 荒木さん 吉田さん 松尾さん 中矢さん 辻君 [中1] 東君



☆ 高校生の「社説」読後文

昨年度から、高1・2生の夏の課題として導入しました。

ただ、今年度のテーマは、在籍の高校生たちにとってはハードルが高かったようで、締切日になっても書き上げられていない生徒もおり、また高2に関しましては、授業担当者のコロナ感染による休講と振替での授業日程変更のため締め切りと回収が徹底しない状況がありました。そのため、まだ全部に目を通すことができておりません。従いまして提出された文に対する講評等は、来月号に記載させていただきます。

☆ 夏期講習を終えて

今年は生徒自身が罹患、或いはご家族が罹患したために濃厚接触者となって、などで在宅でリモート受講という生徒が、小学生を含めて多数出てしまい、授業成果という点ではやや不安の残る講習会となったと言わざるを得ませんでした。また、担当講師にも複数名の罹患者が生じ、授業振り替えや担当者変更などご迷惑をおかけいたしました誠にご申し訳ございませんでした。

- 小学生 6年生の国語で、資料などを基に思考力を錬成するプリント教材を新たに導入し、いつもの国語とは異なるアプローチを致しました。
- 中学1・2年生 予習内容にも踏み込んでいるので、2学期からの学校での学習活動に活かしてくれとうれしく思います。
- 中学3年生 今年のこの学年は人数が少なく、久しぶりに2クラス編成となりました。しかし、生徒個々の学力のバラつきが小さいため、クラスが1つ減っても学習内容をきめ細かく例年以上に行えたかと思えます。実力テスト、五ツ木模擬テストの健闘を期待しています。
- 高校1・2年生 毎年、特に高1生で運動部に所属している学生は、なかなか19:00の授業開始に間に合わない者が多く、その点は今後の検討材料と言えます。また、高1の下のクラスには、中学内容が消化しきれていない者も多く、復習中心のこの講習は有効であったと感じます。

今年の夏も、大きな事件や事故もなく夏期講習を予定通り終わることができました。この夏に蓄えた力を学力として実らせるためには、2学期からも継続して学習に取り組むことが重要です。特に中3生は、2学期の実力テストや模擬試験に向けた答案作成力を磨くことが大切です。つまり、インプットした知識を自在に取り出す力が備わることで、実際の得点力につながります。2学期からはアウトプットを意識した学習(答案作成)をしていきましょう。その他の学年の皆さんは、2学期中の目標を作ってみてはどうですか。テストの点数や模擬試験の偏差値だけでなく、検定試験や読書などでもいいと思います。目標に対する取り組みが、今より成長した自分を作ると思います。皆さんにとって今年の秋が、実り多き秋になることを願っております。

「さあ、2学期のスタート!! 学校中心の勉強スタイルに反して、涼しい時間をうまく活用しよう!!」